

第1回地下空間ワーキング（議事概要）

名古屋駅周辺の大規模な浸水に対して、地下空間における人的被害、施設被害を軽減するため、国、県、市、地下空間に関係する企業等が参加し地下空間の事前の防災行動計画(タイムライン)を検討する「地下空間ワーキンググループ」を設置することとしました。

グループによる初めての検討の場となった「第1回地下空間ワーキング」では、地下空間における防災行動についての現状や課題、今後の検討内容について議論を行いました。

- 日 時：平成27年10月27日（火） 13:30～16:00
- 場 所：名古屋ダイヤビルディング 2号館 2階 222会議室
- 参加機関：中部地方整備局 庄内川河川事務所、名古屋地方气象台、愛知県、愛知県警察、名古屋市、名古屋駅地区街づくり協議会、名古屋駅地区防火・防災管理協議会 他

<議事内容>

- 1) 地下空間ワーキンググループの設置要綱について
地下空間ワーキンググループの設置要綱案について、記載内容の確認を行いました。
- 2) 庄内川決壊対応タイムライン検討案について
平成26年3月に公表した庄内川タイムライン検討案の概要について確認を行いました。
- 3) 地下空間ワーキングの進め方について
ワーキングで取り扱う議題、開催予定など今後の進め方について確認を行いました。
- 4) タイムラインの検討に用いるハザードと災害シナリオについて
今後、タイムラインの検討を行うにあたり、想定するハザードを名古屋直撃型台風とし、その台風による内水や庄内川の破堤による氾濫のシナリオについて確認を行いました。
- 5) 地下空間の防災における課題について
止水対策や地下空間来訪者への避難対策など、地下空間の防災行動に関して、各地下街の現状や課題等について意見交換を行いました。



松尾座長 挨拶



議事の様子